

Cambodia study tour

カンボジアスタディツアー報告会

東京学芸大学教育学部養護教育専攻3年
D23-4011 村澤真彩

はじめに | 概要

はじめに 自己紹介・参加動機

Session 1 カンボジアでの挑戦と学び

Session 2 スタディツアーを通して感じた気付き

まとめ 今後に向けて

はじめに | 自己紹介



村澤 真彩
Murasawa Maaya

所属

東京学芸大学 教育学部 学校教育教員養成課程 養護教育専攻
養護教育コース
3年（ツアー参加時2年）

どんな人？

- ・ラグビーフットボール部マネージャー
- ・好きな食べ物は梅干し
- ・最近の趣味は謎解き脱出ゲーム🕵️

なぜ、カンボジアスタディツアーに参加しようと思ったのか？

2年生の1年間は挑戦の年 にしたい！！





Session 1

カンボジアでの挑戦と学び

カンボジアで挑戦したこと3選！！

01

カンボジアの文化 に触れる

食文化、歴史、
衛生環境 etc...

02

保健指導

BTEC附属小学校と
PTEC附属小学校での
栄養教育

03

コミュニケーション

英語が苦手な私が感じた
コミュニケーションの多様性

カンボジアで挑戦したこと3選！！

01

カンボジアの文化 に触れる

食文化、歴史、
衛生環境 etc…

カンボジアの文化

食文化



鶏の丸焼き
ココナッツミルク

歴史



アンコールワット
キリングフィールド

衛生環境



トイレ

Session カンボジアでの挑戦と学び | カンボジアの文化に触れる

カンボジアの文化

トゥクトゥク



カンボジアで挑戦したこと3選！！

02

保健指導

BTEC附属小学校と
PTEC附属小学校での
栄養教育

栄養教育

導入

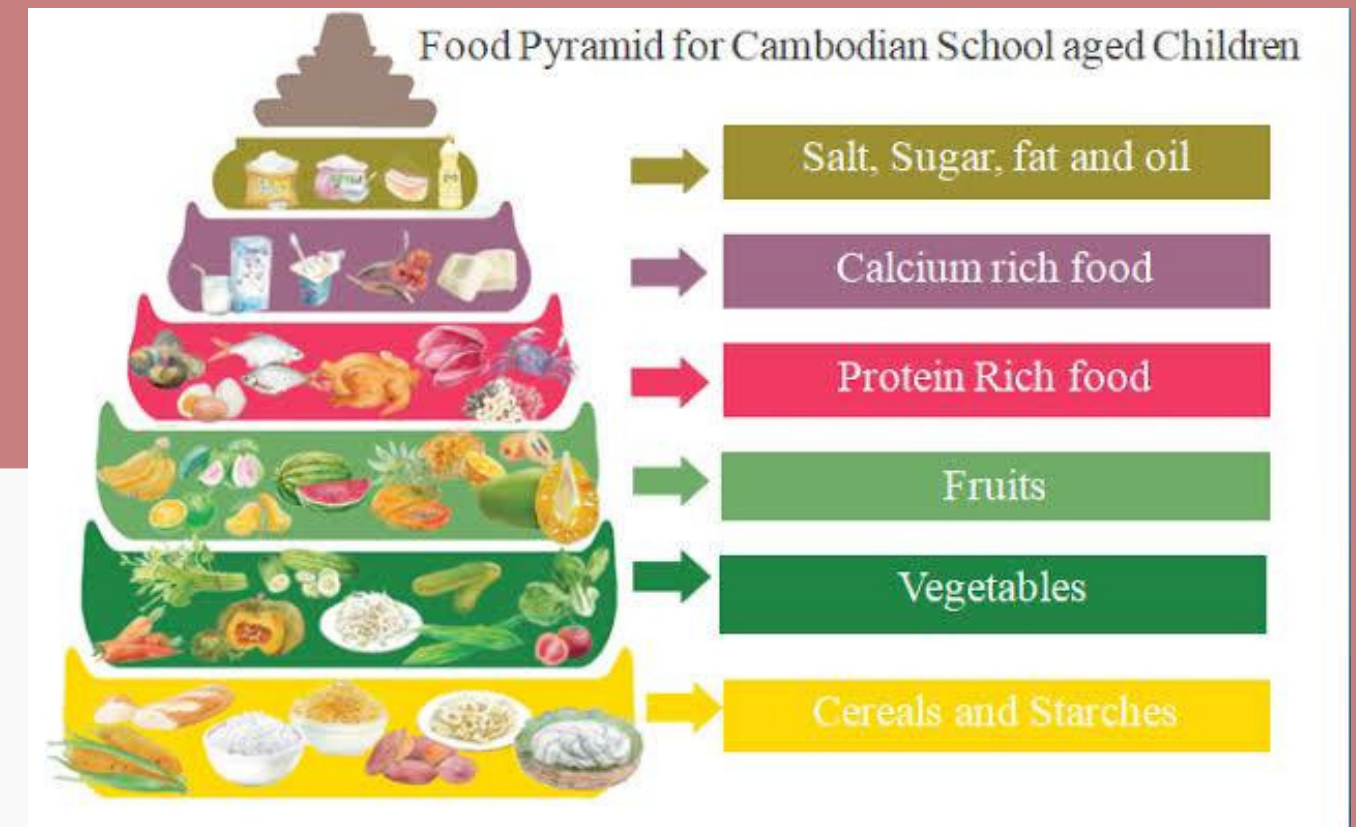
- ①日本の学校給食を紹介し、日本の子どもが塩分や糖分の摂りすぎに気を付けていることを学ぶ。
- ②カンボジアで飲まれる飲料に含まれる砂糖の量を知る。

展開

- ③栄養ピラミッドの説明を聞く。
(各層に分類される食材とその効果、下段にある炭水化物や野菜を多く食べ、最上段の砂糖、塩、油は少量にすること)
- ④自分の好きな食べ物を描き、ピラミッドのどの層に属するか考え分類する。
(グループワーク→全体共有)

まとめ

- ⑤自分の好きな食べ物だけを食べていたらピラミッドが崩れてしまうことを理解し、バランスよく食べることの大切さを学ぶ。



保健指導を通して....



○準備の重要性

- ・ BTECでの指導は現地の学生に頼りきり→反省
 - ・ PTECでの指導の前に準備を十分に行なった
- 現地の学生と協働感、やりがい、児童の様子を見たり、コミュニケーションをとったりする余裕が生まれた。

学

何事も準備の時間を充実させることが大切！！

○対象にあった指導の重要性

- ・ カンボジアと日本の子どもの違い
- ・ BTEC附属小学校とPTEC附属小学校の子どもの違い

→国や地域、学校によって健康課題や子どもの雰囲気異なる。

学

対象をよく理解すること、対象のニーズを考え、何を伝えたいか明確にすることが大切！！

カンボジアで挑戦したこと3選！！

03

コミュニケーション

英語が苦手な私を感じた
コミュニケーションの多様性

スタディツアー参加にあたっての1番の不安が…

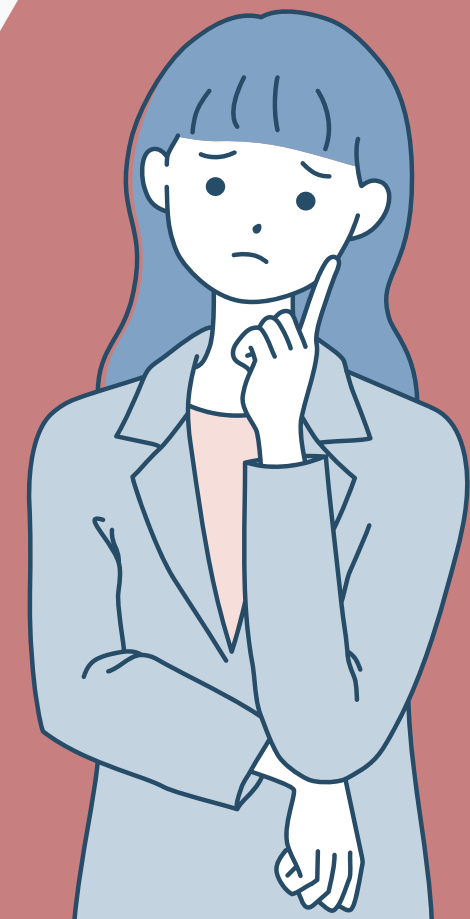
英語が苦手な私に、現地の人とコミュニケーション
をとることができるか??

実際…

「自分の伝えたいことをうまく伝えられない。」

「相手が何を言っているかわからない。」

「もっと自分の英語能力が高ければ…」



コミュニケーションの多様性

非言語コミュニケーション

01

表情・視線

笑顔を大切に！！
気持ちを表情にわかりやすく表す。
相手の方を見て話を聞く。

02

ジェスチャー

実際に体を動かすことで相手に伝わりやすい。指示などにおいては細かいニュアンスが伝わる。

03

声のトーン

明るく落ち着いた声のトーン、気持ちを表情だけでなく声のトーンでも表現する。

学

コミュニケーションの手段は言葉だけではなく、非言語コミュニケーションも大切！
言葉が通じなくても、伝えようとする気持ちが大切！



Session 2

スタディツアーを通して感じた気付き

自分の強みと弱み

○準備の大切さ

- ・自分は事前に準備ができることには強い

（例：苦手な英語も事前に話す内容を準備しておけば話すことができた。保健指導で準備の時間をより充実させることで、円滑に実施することができた。

○臨機応変な対応力

- ・臨機応変にその場の状況に応じて対応することは苦手。

（例：保健指導の際、想定と違う活動になってしまった時、現地の学生の対応力に助けられた。

学

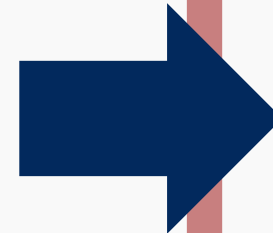
準備をしっかりとしながらも、事前に決めたことにこだわりすぎず、臨機応変に対応できる力を身に付けたい。

やってみれば何とかなる

○心配性な自分

- ・挑戦することに躊躇いを感じることも…

(例：スタディツアーへの参加の迷い
→英語が苦手、現地の人とコミュニケーションをとれるか心配)



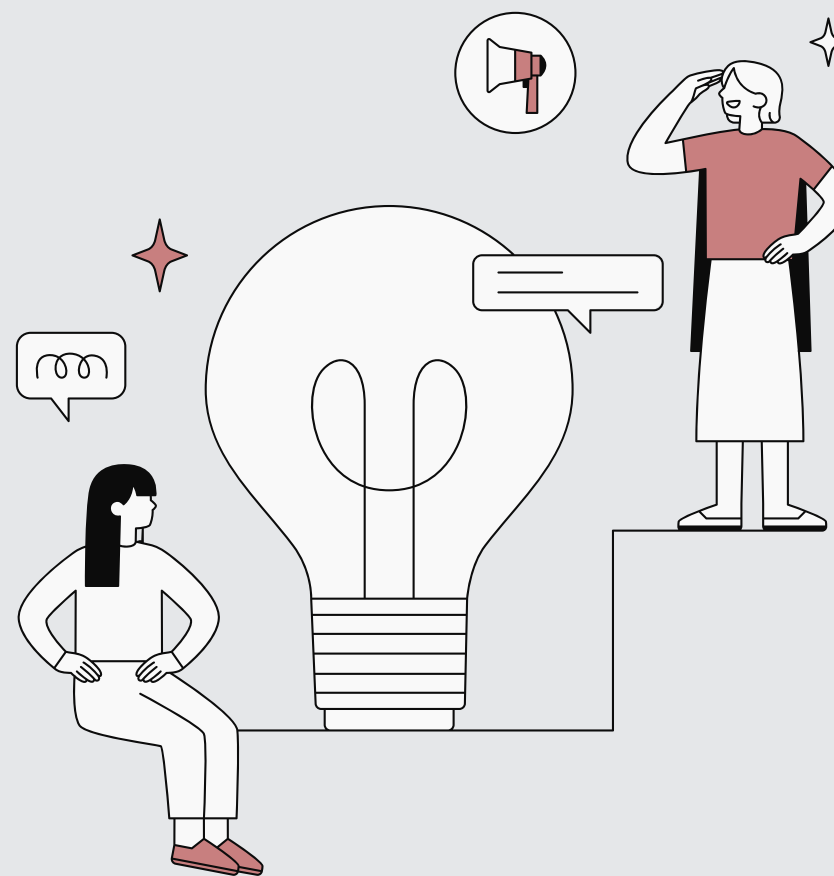
○いざやってみたら何とかなる！

- ・新たな自分の一面に気付くこともできる

(例：実際に参加して、言葉が理解し合えなくても、表情やジェスチャーで伝わるものがある)

学

「やらない後悔よりも、やって後悔しよう！」の気持ちで何事にも挑戦する。



まとめ
今後に向けて

今後に向けて

1

多様な文化に触れる

- 多様な文化に触れる体験から自分の視野を広げる
- 相手の文化を大切にする

2

準備の大切さと臨機応変

- 準備を充実させること
- 臨機応変な対応力の育成

3

非言語コミュニケーション

- コミュニケーションは言語だけではない
- 言語が通じる環境でも非言語コミュニケーションを大切に
- 相手の非言語コミュニケーションにも気にかける

4

何事にも挑戦

- 「やってみれば何とかなる」
- やらない後悔より、やって後悔しよう

5

養護教諭を目指す身として

- 「教員を目指したい」という気持ちの再確認
- 対象の理解を深め、ニーズに合った教育を提供する



ご清聴ありがとうございました。